



Bunraku
the puppet theatre of Japan

文楽 二人三番叟

とよたけろせたゆう
豊竹呂勢大夫 たけざわそうすけ
きりたけかんじゆうろう 竹澤宗助 つるざわどうぞう
桐竹勘十郎 よしだかんや 鶴澤藤蔵
吉田勘彌 ほか



Nihon Buyo
Japanese traditional dance

日本舞踊 手習子

はなやぎみ きいふう
花柳美輝風 長唄 杵屋巳津也 ほか
三味線 今藤長龍郎 ほか
囃子 藤舎呂英社中



Bugaku
Japanese court music and dance

舞楽 春庭花

どうようかくそ
東京楽所 (代表 多忠輝)



Daidengaku
folk theatrical created by Mannōjo Nomura

大田楽 番楽 田主奏上 総田楽

のむらまんどう のむらせんじゆう
野村万蔵 野村扇丞 ほか
わざおき



春迎え

Arts and Artistry of Japan
A Showcase of Traditional Performing Arts

華と技が彩る日本伝統芸能の世界

2013 2.6 | 水 | 午後6:30開演 (午後5:30 ロビー開場)

東京芸術劇場 コンサートホール

● 午後5時30分より、劇場前の池袋西口公園で、大田楽や木遣り、新ばし芸者衆が練り歩く「道行」があります (雨天時は、東京芸術劇場1Fアトリウムにて)。

Feb. 6 [Wed] 6:30p.m. Start [5:30p.m. Lobby Opening]
Venue: Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall
※From 5:30p.m. ~ MICHYUKI (Procession)
at the Ikebukuro Nishiguchi Koen (Ikebukuro West Exit Park)

休憩中、コンサートホールロビーでは
新内剛士 ほかによる新内流しや、石渡大介連中による里神楽、
鏡味仙志郎による太神楽をお楽しみいただきます。

企画構成: 茂手木潔子

※都合により、出演者・演出等変更になる場合がございますのでご了承ください。
Performers, programs, and schedules are subject to change without notice.



<http://www.artsCouncil-tokyo.jp>

| お問い合わせ | 伝統芸能見本市事務局
TEL: 03-5623-2556 (平日10:00~18:00) E-mail: harumukae@k-bm.co.jp
| 主催 | アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
| 協力 | 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)



2013 2.6 | 水 | 午後6:30開演 (午後5:30 ロビー開場)

東京芸術劇場 コンサートホール ● 午後5時30分より「道行」(池袋西口公園)

全席指定 一般 2,000円 学生 1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。
東京芸術劇場館内のキッズルームがご利用いただけます(事前申込制・有料)。
お問合せ・お申込み:03-3981-7003

Reserved seats only
Adults: 2,000yen Students: 1,000yen
*Entry not permitted to children under six years of age.

英語イヤホンガイド有り(無料)
Earphone-guide service in English available (Free of charge)

もてぎきよこ
解説:茂手木潔子

日本舞踊 手習子

長唄 花柳美輝風 三味線 今藤長龍郎 唯子 藤舎呂英社中

1792年(寛政4)初演の長唄舞踊の作品です。舞踊のお祝い会で取り上げられることの多い作品のため、初心者用と誤解されている向きもありますが、どうして、実はなかなか奥深く、きちんと踊るには相当の技量が必要です。

主役は寺子屋帰りの可憐な少女です。春の陽を浴びて、愛らしい少女が道草をしながら、時には大人っぽい雰囲気ものぞかせながら艶やかに踊るといった内容です。長唄と唯子の若手実力者の演奏で本格的な手習子をお楽しみ下さい。

花柳美輝風 ※写真は「手習子」ではなく「團十郎娘」

舞楽 春庭花

東京楽所(代表 多忠輝)

舞楽は、雅楽の中で舞を伴う作品のことで、唐楽と高麗楽の2種類に分類されます。唐楽と高麗楽の違いは、舞では舞人の衣装の色の違い、音楽では演奏する楽器の種類の違いに現れます。

この作品は、唐の玄宗皇帝が棲に登った時に、その年の花の開花が遅いのを嘆いて曲を演奏した所、花がたちまち咲きはじめたという逸話に基づいています。後半では、4人の舞人が輪になって、花が開いたりしぼんだりする様子も表現しています。

舞および演奏は、古事記を編纂した太安万侶の子孫で、宮内庁楽部楽長を務めた故多忠輝が、宮内庁楽部有志による雅楽演奏団体「雅楽紫絃会」を母体に東京の民間雅楽団体からの選抜演奏家を含めて1978年10月に組織した「東京楽所」(現在の代表は多忠輝)です。

撮影:青木信二

文楽 二人三番叟

《二人三番叟》とは、人形浄瑠璃文楽(寿式三番叟)から三番叟部分のみを演ずるときの題名で、2人の三番叟が踊るリズムカルでダイナミックな、そしてボケとツッコミ的なやり取りのある非常に面白い作品であり、また音楽も、義太夫三味線の魅力満載の聞きがい一杯の作品です。「三番叟」は、天下泰平・五穀豊穰・延命息災を祈る芸能で、「能」の神事的な作品「翁」の中で演じられるものがあるのですが、文楽の三番叟は、竹本義太夫が原型を作ったと言われます。文楽は、世界に類を見ない日本独自の人形芝居です。太夫は豊竹呂勢大夫ほか、三味線は竹澤宗助ほか、そして人形は桐竹勘十郎、吉田勘弥ほかで上演しますが、文楽界の若手実力派が本公演のために集合していただきました。

豊竹呂勢大夫 竹澤宗助 桐竹勘十郎 吉田勘弥



撮影:青木信二

大田楽

野村万蔵 野村扇丞 ほか わざおぎ

大田楽は、若くして亡くなった狂言師五世野村万之丞(没後八世万蔵を追贈される)が発案し創りあげた、伝統に基づいた新たな芸能です。中世・京の都を中心に全国で流行った、能狂言のルーツである「田楽」の伝統を現代に蘇らせた作品です。当時もそうであったように、色とりどりの花をあしらった笠をかぶり、腰鼓や編木を鳴らしながら躍る人々や、アクロバット、ジャグリングなど、同時代の様々な大道芸を取り入れて華やかに構成されています。現代の背景の中で伝統を継承するコンセプトで貫かれ、NHK大河ドラマ「利家とまつ」「平清盛」でも当時の情景を補完する大きな役割を果たしてきました。今回は、その一部を道行と舞台公演両方で演じますが、九世野村万蔵も登場します。

*大田楽では腰鼓(くれつづみ)、編木(ささら)とそれぞれ呼んでいる。



撮影:赤坂久美

● 道行にも出演します。

道行 江戸木遣り

江戸消防記念会 第一区連中

木遣りは、寺社の建築のための木材を運ぶ行程で歌われる声の音楽で、長野の諏訪大社御柱祭の木遣り、伊勢神宮の御木曳きの木遣り、江戸火消しの木遣りなどが有名です。江戸の木遣りは高音域の声を長く引いて歌う自由リズムの唄ですが、現在は、出初式、増上寺御忌大会、浅草三社祭、天王祭などで、祭の先陣を切って歌われます。特に、出初式では、江戸時代から受け継ぐ梯子乗りも披露され、江戸火消しの各組の勇壮な纏振りも見ることができます。演唱は中村達太郎を代表とする江戸消防記念会の皆さんです。

写真提供:国立劇場

新ばし芸者の道行 新ばし芸者衆

江戸といえば、助六に象徴される粋で華やかな歌舞伎の世界を思い浮かべます。舞台に欠かせないのは、艶やかな芸妓たちと武士や町人との恋模様でしょうか。多くの浄瑠璃や歌舞伎のエピソードが、芸妓の存在によって色づけられてきました。今回は、新橋の芸者連中のご協力でも豪華な道行を再現します。黒の衣装に身を包んだ新ばし芸者、手に金棒を携えた手古舞役の芸者が先導します。



写真提供:東京新橋組合

ロビー

新内流し

新内剛士(右) 新内伸之助



写真提供:江東区深川江戸資料館



さとかがく 里神楽
いしわただいすけ 石渡大介連中

だいかぐら 太神楽
かがみせんしろう 鏡味仙志郎



東京芸術劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
TEL:03-5391-2111

<アクセス> JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下道出口の2a出口で直結しています。

